

令和5年度 専科（第50期） 試験問題

【財務諸表論（個資徴班）】

【解答に当たっての注意事項】

- 1 机上には、持込みが許可された筆記用具等以外は出さないこと。
《持込みが許可された筆記用具等》
ペン又はボールペン（インクの色は黒色のみとし、消せるものを除く。）
鉛筆又はシャープペンシル（芯の色は黒色のみとし、B又は2Bに限る。）
プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り、定規
電卓（演算機能のみを有するものに限る。）
腕時計（通信機能を有しないものに限る。）
- 2 答案用紙の追加配付は行わない。
書き損じた場合は、使用した筆記用具により次のとおり対応すること。
 - ・ ペン又はボールペン・・・定規を使い二重線で抹消すること。
 - ・ 鉛筆又はシャープペンシル・・・消しゴムできれいに消すこと。
- 3 答案用紙のホチキスは、外さないこと。
- 4 試験問題は、指示があるまで開かないこと。
- 5 試験問題の内容に関する質問には応じない。
印刷の不鮮明等がある場合には、試験開始後、静かに手を挙げること。
- 6 解答の記載に当たっては、丁寧に書くこと。
判読できない場合は、採点されない場合や減点される場合がある。
- 7 注意事項に従わない答案や、解答欄を誤って記載した答案については、採点されない場合や、減点される場合がある。

【第1問】

有価証券の評価について、企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」等に従い、次の問1から問4までの各問に答えなさい。

問1 売買目的有価証券の会計処理について簡潔に述べなさい。

問2 その他有価証券の評価差額については、純資産直入法によって処理される。純資産直入法が採用される論拠について述べなさい。

問3 満期保有目的の債券については、取得原価をもって貸借対照表価額とする。満期保有目的の債券が取得原価で評価される論拠について述べなさい。

問4 満期保有目的の債券、子会社株式及び関連会社株式並びにその他有価証券のうち、市場価格のない株式等以外のものについて時価が著しく下落したときに、どのように会計処理するか簡潔に述べなさい。

【第2問】

引当金について、次の問1から問3までの各問に答えなさい。

問1 引当金の意義について述べなさい。

問2 引当金の設定要件について述べなさい。

問3 引当金の目的について、引当金の分類に触れながら、述べなさい。

【第3問】

ストック・オプションについて、企業会計基準第8号「ストック・オプション等に関する会計基準」に従い、次の問1と問2の各問に答えなさい。

問1 従業員等にストック・オプションを付与した場合に、費用認識する論拠を述べなさい。

問2 付与したストック・オプションと、これに応じて従業員等から提供されたサービスの測定について次の問いに答えなさい。

- (1) 契約成立時点において相互に対価関係にある財貨やサービスについて、対価関係にある他方の財貨又はサービスの価値をどのような評価額で算定するか、簡潔に答えなさい。
- (2) 付与したストック・オプションと、これに応じて従業員等から提供されたサービスとが付与日に等価関係にある場合に、従業員等から提供された労働サービスは、当該労働サービスの価値ではなく、付与したストック・オプションの公正な評価額により算定される。その理由を述べなさい。

令和5年度 専科（第50期） 試験問題

【財務諸表論（法人課税班）】

【解答に当たっての注意事項】

- 1 机上には、持込みが許可された筆記用具等以外は出さないこと。
《持込みが許可された筆記用具等》
ペン又はボールペン（インクの色は黒色のみとし、消せるものを除く。）
鉛筆又はシャープペンシル（芯の色は黒色のみとし、B又は2Bに限る。）
プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り、定規
腕時計（通信機能を有しないものに限る。）
- 2 答案用紙の追加配付は行わない。
書き損じた場合は使用した筆記用具により次のとおり対応すること。
 - ・ ペン又はボールペン・・・定規を使い二重線で抹消すること。
 - ・ 鉛筆又はシャープペンシル・・・消しゴムできれいに消すこと。
- 3 答案用紙のホチキスは、外さないこと。
- 4 試験問題は、指示があるまで開かないこと。
- 5 試験問題の内容に関する質問には応じない。
印刷の不鮮明等がある場合には、試験開始後、静かに手を挙げること。
- 6 解答の記載に当たっては、丁寧に書くこと。
判読できない場合は、採点されない場合や減点される場合がある。
- 7 注意事項に従わない答案や、解答欄を誤って記載した答案については、採点されない場合や、減点される場合がある。

【第1問】

有価証券の会計処理について、次の問1から問3に答えなさい。

- 問1 購入により取得した有価証券の認識と取得原価の測定について説明しなさい。
- 問2 「満期保有目的債券」に用いる「償却原価法」の意義と会計処理を説明しなさい。
- 問3 「売買目的有価証券」と「その他有価証券」の期末評価について特徴を述べなさい。

【第2問】

資産除去コストの会計処理について次の問1から問3に答えなさい。

- 問1 資産除去債務の意義について述べなさい。
- 問2 現在の会計基準が設定された経緯について説明しなさい。
- 問3 資産除去債務の会計処理について説明しなさい。

【第3問】

- 問1 貨幣評価の公準について述べなさい。
- 問2 「無形固定資産」の意義と分類および償却について説明しなさい。
- 問3 連結損益計算書作成時の親会社・子会社相互間の未実現利益の消去について説明しなさい。